

坂の上通信

令和五年四月六日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

クラスマッチ 開催

勝ち負け関係なく団結を

3月15日(水)、16日(木)の2日にわたって、クラスマッチが開催された。競技は去年と同じく男女混合のドッジボール。各クラス二チームに分かれて、同学年のクラスと対戦する。クラスマッチとは

いえ、順位よりも仲間と団結して楽しむことを重視して行われた。一年生はジャージ、二年生は文化祭で作成したクラスTシャツを着用した。一年生はクラス替えがあるため、今のメンバーでの

最後の学校行事となる。また、二年生もこれで最後のクラスマッチであるため、どのクラスも熱が入り、白熱した戦いを見せていた。一方で、男子生徒からは「申し訳なくて女子に当てにくい」、女子生



試合の様子。男子も女子も本気でボールを投げ、楽しみながら勝利を目指す。



カメラに向かって笑顔を見せる生徒たち



徒からは「男子のボールが当たると痛い」と不満が出るなどしていたが、その顔は楽しげであった。
一日目は快晴で、春の陽気に包まれての開催となったが、二日目はばらばらと小雨の降る中での開催となった。しかし、女子も男子も一日目以上の団結を見せ、疲れを見せない元気な声がグラウンドに響いた。試合も終盤になると、先生たちが全試合を終えたチームと戦う場面もあった。試合そっちのけでコート

を全員が取り囲み、先生たちの試合を見守る。普段の先生からは想像もつかない意外な姿を目の当たりにし、応援や歓声で大いに盛り上がった。参加した三浦先生は「筋肉痛です」と苦笑していた。
今回のクラスマッチを経て、生徒会長の津田明里さんは、「先生に試合を挑むなど、生徒会や他の生徒が自主的に動いていてよかった。また、みんなが時間帯通りに動いてくれたのでスムーズに進行できた。」と振り返った。

美鈴が丘高校のOBで、現在は中国新聞社報道センター社会担当の記者である菊池諒さんにお話を伺った。美高での思い出について、「担任だった横山先生や、生活指導の尾寄先生にはお世話になりました。」



先生チームと試合をする一年生(上)と、自クラスを応援する生徒たち(下)

「夢や目標はどんなものでも良く、ずっと同じものではなく変わっても良いです。僕も教師になることを夢見ていたが新聞記者になったように。ただ、変わっても、そこに向かって常に努力を続けることが大事です。高校校生なら、勉強。勉強は、進路が変わっても決して無駄になりません。部活動などにも一生懸命取り組みましょう。」

また、地歴公民科の水原先生も美高のOBである。先生はクラスマッチについて、「僕の時は男子はサッカー、女子はバレーでわかれていたのですが、女子の試合がないときは男子の応援に来てくれたり、男子が女子の応援に行ったりして、クラスが一つになって楽しめたなという思い出があります。最後のクラスマッチで、僕のクラスが皆協力した事もあり良い成績がとれたのがうれしかったです。」と語る。

コロナ禍も明けようとしている今は、時代の転換期だ。変わったものを元に戻すか、新しい形に作り変えるのか。学校も、私たちの手で良い方向に変えていくことが求められる。

美高OB、思い出を語る

変わらない唐揚げ、変わったクラスマッチ

部活動紹介

今回紹介するのは華道部である。

私たち華道部は一年生6人、二年生6人で活動しています。普段は、先生に指導を受けながら花を生け、自由に和気あいあいと活動しています。

2月16日〜19日にかけて、福屋八丁堀店で

「坊展」に、2年3組の岡本望心さんと守永彩乃さんが出品しました。学校の活動だとか見ないけど、池坊展では、他校の生徒や池坊の人たちの作品が見れたり、他校の活動が知れたりして、刺激になりました。とても貴重な経験になりました。



守永さん(左)と岡本さん(右)の作品

美高生に一言
花が好きならにはもってこの部活だと思っので、是非入部してほしいです。

6名の先生方が離退任

美高での思い出を胸に、新たなステージへ

3月19日、広島市の高校教諭の人事異動が発表された。4月1日付けで、美鈴が丘高校を離れることになった先生方は6名。そのうち4名の先生方が退職を迎える。
新聞文芸部は、6名の先生方に今の心境をうかがうべくインタビューを行った。約3年にも及ぶコロナ禍での学校生活や、担任したクラスでの思い出、部活動での出来事など、様々な思い出を語ってくれた。

横山直子先生



今の心境は
退職まで長かった。美鈴で7年間やっ
ようで短かったです。てきました。この
しかし、あつという 7年は劇的に変化し
間ではありませんで ました。コロナの影
響で色々な制
限がかけられ、
経験や達成感
を得て成長す
る機会を奪わ
れるのをうま
く助けること
が出来ず無念
です。
美高での思い出
3年間担任

をしていた時期があつて、受け持ったクラスはどこも個人的で面白いクラスでした。体育祭の創作ダンスでも、オリンピックの種目である水泳などをダンスに取り入れたりと、行事を自分たちで盛り上げていて楽しかったです。
美高生へメッセージ
いろんなことにチャレンジしてたくさん失敗してください。失敗を怖がらずに。そこから学び、再び挑戦しましょう。また、お互いに尊重し合える仲間であってほしいです。

尾寄正司先生



今の心境は
もう終わるのかな？
という感じです。
美高での思い出
美高に赴任してき

たときに、グラウン
ドがぐちゃぐちゃで、
雑草だらけだったり
したので、野球部の
部員たちとグラウン
ドをきれいに
した事が印象
に残っています。
また、授
業では、ラジ
オ体操をきち
んと教えたい
たいという思
いがあったの
で、毎年一年
の男子を持た
せてもらって

指導しました。三年後の体育祭の時に全員がきれいにラジオ体操をしているのを見て、頑張つてよかったな、生徒もよく頑張つてくれたな、と思つたのを覚えています。生活指導でも、いろんな生徒ときちんと向き合つて話が出来たので、生活指導をやつてよかったなと思います。
美高生へメッセージ
めんどくさい、しんどい、つらい、というのを続けてやっていると、それが当たり前になってきます。がんばれよ！

中堀恵先生



今の心境は
今ひとつ退職とい
う実感はないです。
教員としては36年に
す。
美高での思い出
元々ずっと
商業の教員を
していたので、
普通科で情報
を教えるのは
初めてでした。
美高へ来てか
らは、今まで
に知らなかつ
たことや経験

なりましたが、もうそんなになんか経つたんだなという思いはあります。
美高生へメッセージ
これからのことを考えて行動しよう、というのを伝えたいです。失敗したり、間違えたりということは私も何度もありましたが、それを引きずっていても仕方がないので、じゃあ何をするかというこをしっかりと考えながら行動して欲しいです。

濱田浩子先生



今の心境は
しんどい思いもた
くさんあつたけれど、
日々勉強だと思つて
歩んで来ました。皆
美高での思い出
あすなる会での活
動です。地域
の子供たちや
障がいのある
方々など、様々
な方と生徒た
ちが交流でき、
よかつたとお
もっています。
また、昨年度
は3年生の担
任をしており、
とても個人的
とでも個人的

さんの笑顔が支えて
した。
とが印象的です。進
路指導部として、3
年生や自分のクラス
の子たちの、幅広い
進路に合わせた指導
を行ったことも、印
象に残っています。
美高生へメッセージ
『花を支える枝、枝
を支える幹、幹を支
える根、根っこは見
えねんだなあ。(相
田みつを)』
皆さんも、根っこを
育てましょう！

閑田敏幸先生



今の心境は
今までに経験した
ことのない学校に行
くのでワクワクして
るように感じます。
美高での思い出
この一年
でようやく
慣れてきた
ばかりだつ
たので、寂
しいです。
美高での思い出
昔の美鈴
はこのク
ラブも活発
でしたが、
今はグラウ

います。また、主幹
教諭から教頭になる
ので、責任が重くな
るのを感じます。
この一年
でようやく
慣れてきた
ばかりだつ
たので、寂
しいです。
美高生へメッセージ
今しかないこの思
春期に色々なチャレ
ンジをしてほしいで
す。勉強や恋愛、音
楽、スポーツ、なん
でも良いです。自分
のやりたいことにこ
だわりたいです。

永福永伍先生



今の心境は
美高とはまた違つ
た学校に行くので、
緊張と不安でいっぱ
美高での思い出
二年生の担任をし
ていたときに、
修学旅行で東
京デイズニ
ーに行った
ときのことが
印象に残つて
います。その
日は寝不足で、
疲れも溜まつ
ていました。
そんな中1番
最初にタワー！
オブ・テラー

に乗ったら、見事に
撃沈し、吐いてしま
いました。もともと
絶叫系が苦手だつた
のもありますが、そ
のあとの時間はずつ
とカフェで休んでい
ました。
美高生へメッセージ
美高生はとも素
直で良い子ですが、
良い子にならなくて
いいときも、すぐに
おとなしい良い子に
なつてしまうので、
あきらめるな！と伝
えたいです。自分の
選んだ道を信じて、
まっすぐ進んでくだ
さい。

美・鈴・鈴・鈴

進学や進級などで環境
が変わりやすいこの季
節。出来るだけ早くそ
の環境に慣れようと焦
る気持ちもあるかもし
れない。しかし、その
焦りから自分らしさを
失つていないだろうか。
▼自分から人に話しか
けることが苦手だつた
り、みんなと仲良くな
りたくても周りはもう
グループが出来ていて
難しかったり、一歩踏
み出すにも大きな勇気
が必要である。勇気を
出すことは大事だが、
それ以上に自分を大事
にしてほしい。早く友
達を作らないという
焦りから自分の気持ち
や自分らしさを出せな
かつたり、焦燥感に駆
られ周りが見えなくな
つたり、さらには自分を
見失つてしまつたり。
どんな気持ちになつて
も焦りは禁物だ。▼新
しい環境では、ぜひ自
分らしさを出すことが
でき、お互いに高めあ
うことが出来る人を見
つけてほしい。難しい
ことだが、それが出来
たらきっと学校生活も
楽しく送れるだろう。

編集後記

4月から、新一年生、
クラス替えのある二年
生、コース別授業とな
る三年生。別れた寂し
さを抱えつつ、新しい
出会いに期待して、新
生活を楽しもう。